

謹賀新年

新しい年を迎え皆様のご健康と
ご多幸を心よりお祈り申し上げます
本年もよろしくお願いたします
平成二十八年元旦



平成28年の新春を迎え、日本靴小売商連盟、一般社団法人東靴協会の会長として謹んでお慶びを申し上げます。

年頭所感

平成28年

日本靴小売商連盟
一般社団法人東靴協会
会長 小堤幸雄



一般社団法人
東靴協会
千代田区鍛冶町1-6-17
〒101-0044 ☎(3252) 5656
(新年号)

国内情勢としては安保法制、TPP、消費税増税についての論議が高まりましたが、それぞれに不安ばかり煽られていて、未だに何かはつきりした着地点やその先が見えてきません。

昨年の消費動向は、「インバウンド」「爆買い」が流行語になるくらい中国を中心とした外国の観光客の消費が目立ちましたが、好立地の大型商業集積地や観光地に集中し、日本全体消費額でみると僅か1%プラス程度に留まって居り、景気浮揚に大きく貢献したわけでは

シューフィッターの皆様へ
住所・勤務先等変更が生じた時は必ず協会までご連絡をお願いします

ないようです。今年以降持続するように国を挙げて努力しなければと思います。

我が業界でも円安の固定化により製造業は原材料の高騰と不足に悩まされ、輸入品はじりじり値を上げているがそのまま売値に反映も出来ない状態が続いています。消費者も一時は多少財布のひもを緩めました、公共料金や社会保険料の値上げで実質賃金が上がらず、消費税や相続税の増税を控えてなんとなく購買意欲を削がれている状態です。

しかし、一方では、永年のデフレの中で品質の悪さに目をつづつても価格を重視せざるを得ない時代が続きましたが、「インバ

ウンド」現象がきっかけで「いいもの、本物、日本製」が飛躍的に脚光を浴びてきています。これからは豊かな暮らし方を求める時代です。

少子高齢化のさらなる進展も踏まえ、安物をたくさん販売する時代はもう終わりました。いや、終わらせなければいけません。そして、「いい靴」を多様な消費者に紹介するにはしっかりとした商品知識とフィッティング技術をもった接客、応対が絶対に必要です。

本年も日本靴小売商連盟、一般社団法人東靴協会としては、靴店、靴売り場に限らず、靴を販売する全ての売り場に必ずシューフィッター資格者がいるような環境創りを目指して、シューフィッター養成とシューフィッター既得者のスキルアップに努めたいと念じております。「健康で豊かな生活は足元から!」と言うことで、消費者講座や消費者懇談会などを通じて少しでも一般消費者のお役に立つように努めてまいりたいと思います。

今年も皆様のなお一層のご協力をお願いするところであります。宜しくお願いたします。



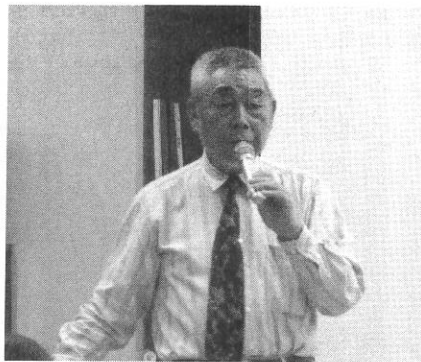
ダイアナ株式会社
「第9回製品安全対策優良企業表彰」
ダイアナ株式会社は、経済産業省主催の「製品安全対策優良企業表彰」において「優良賞」を受賞した。
この事業は、経済産業省の主催で「ニッポンものづくり」に安全を超えた安全を!と「ニッポンの製品安全対策をもっと世界へ!」のキャッチフレーズで実施されている取り組み。現在までに株式会社イトーヨーカドー、YKK AP株式会社等いろいろな業界の企業が受賞している。受賞企業は、経済産業省の「製品安全コミュニティー」に参加し、政府が促進しているサプライチェーン全体で製品安全に取り組む体制の構築に向けた先駆けとして、同省に協力していくことになる。

消費者講座開催

板橋区消費生活センター

昨年11月18日に板橋区消費生活センターに於いて小堤幸雄会長が講師を務め、「健康な足を守るための靴選びのコツ」と題し消費者講座が開催された。受講者は男性3名、女性33名の36名が参加した。

講師の分りやすい講義内容で熱心に聞き入っていた。



講義終了後のアンケートの集計ではほとんどの方が「今後の生活に役に立ちそうな内容だった」「講師の話はほぼ理解できた」と答えていました。また、自由記述欄には「期待した以上の内容だった」「質問に講師が丁寧に答えていてとてもよかったです」「話が分かりやすくとても参考になった」との意見があり、多くの方に満足してもらえ、講座となった。

業界情報



ムーンスターが

東京本社・支店を移転

ムーンスターが東京本社・東京支店を移転した。

新住所は、東京都中央区八丁堀二丁目12番7号八丁堀ビル4F。連絡先は左記の通り

東京本社・電話03-6385-4192

FAX 03-6385-4134

東京支店・電話03-6385-4130

FAX 03-6385-4114

○エス・ジー・エスが

破産申請

(株)エス・ジー・エス(神戸長田区)は昨年8月31日に事業停止し、自己破産申請の準備に入り10月に申請を行う。

1989年9月に破たんした十合産業の一部を継承しスタートした靴卸業者。

上代4千円程度のケミカルシューズを中心に輸入しており、超円安により仕入れコストが上

昇して、採算性を悪化させていた。負債額は約2億6千万円。

一時は年商14億3千万円を計上していたが、アジアからの輸入品に押され3億5千万円まで減少した。大手通販会社との新規取引や人気アパレルブランドとのタイアップ商品を扱うなどして、2014年8月期の年商は8億1千万円までに回復していたが、円安による収益面の苦戦が続く、今回の事態となった。

○ハギワラ(株)(ケミカル卸)が

破産手続き開始

ハギワラ(株)(東京足立区)は、8月26日に東京地裁より破産手続き開始の決定を受けた。

負債額は2億1千万円。1967年4月に創業したケミカルシューズ・サンダル卸業者。花川戸に浅草営業所を構え、首都圏を主体として、女性用ケミカルシューズやサンダルの卸を展開していた。

2007年10月には小売店「J.L.I.」を開設し、北千住駅前と北砂で2店舗を経営し、08年12月期には年商約3億7500万円を計上していた。

他社との競合など厳しい環境の中、14年12月期には2億1000万円にとどまり、資金繰りが厳しかった中、昨年8月に連続資金ショートし、事業継続を断念した。

靴専門店大手3社報告

大手三社の売上速報から昨年3月から11月までの月別の売り上げの推移を、下記の表にしました。

3月は各社ともマインスが大きくなっていますが、前年の消費増税の駆け込み需要の高数値が影響しています。

☆チヨダ・梅雨期の防水、防滑機能を搭載した商品が好調。また、PB商品、特にハイドロテック紳士靴が堅調。子供から大人までスニーカー、スポーツ靴が年間通して好調。

☆ABCマート・年間を通してスポーツシューズが好調に推移。夏は猛暑の影響でサンダルが好調。今期はインバウンド需要が大きく影響してきた。

☆ジーフット・夏の商品を早めに展開したところ、猛暑の影響もありサンダル等婦人商品が好調に推移。今期もスニーカーが好調、中でも婦人スポーツが順調に推移。

社名		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	3/4四半期
チヨダ	売上比(%)	-17.2	11.8	8.7	-3.4	6.8	6.5	11.1	3.8	2.8	5.7
	客数(%)	-17.5	4.8	3.3	-9.4	-2.5	-1.4	1.7	-3.3	-5.2	-2.3
	客単価(%)	0.3	6.6	5.2	6.5	9.5	7.9	9.2	7.3	8.3	8.1
	店舗数	1096	1098	1098	1097	1096	1087	1092	1092	1090	
ABCマート	売上比(%)	-3.2	12.5	13.8	1.9	10.1	9.7	16.8	13.5	5.2	11.6
	客数(%)	-8.6	5.6	5.7	-7.7	-2.8	-3.6	3.3	3.9	-3.9	1.0
	客単価(%)	5.8	6.6	7.7	10.5	13.2	13.7	13.1	9.2	9.5	10.4
	店舗数	794	807	807	808	815	815	825	836	847	
Gフット	全店売上比(%)	-17.0	9.7	10.3	-6.1	5.7	0.4	8.0	1.9	-1.9	2.5
	既存店売上比(%)	-19.4	6.9	3.7	-11.7	0.1	-5.2	2.0	-3.2	-6.3	-2.7
	店舗数	816	823	827	843	858	860	862	868	871	

(チヨダ・ABCのデータは全店舗)

とうくつ新聞バックナンバー

平成27年1月号から

11月号まで

昨年一年間のバックナンバーを掲載いたします。昨年は皆様にとつてどんな年でしたか？振り返ってみましょう。

○平成27年1月号(400号)

一面・年頭所感。

二面・昨年のヒット商品番付。

三面・メーカーの直営店展開。

左右違う靴が買える。

四・役員・支部連絡会

(11月25日・21名)

支部費について。

※協会アンケート、都中小企業

景況調査は毎号掲載。

○平成27年2月号(401号)

一面・日本靴小売商連盟総会。

SF既得者勉強会開催。

二面・平成27年を考える。

新年交礼会開催。

三面・大手3社の売上げ推移。

支部だより(中央支部)。

四・役員・支部連絡会

(12月19日・28名)

○平成27年3月号(402号)

一面・親和会総会新年会開催。

消費者講座開催(鈴木講師)

問・あなたが社長なら？

二面・「西村勝三」東商新聞に

掲載。SF既得者勉強会開

催(木内講師)。

三面・イタリア「ミカム展」を見

て。日本はきもの博物館再

開。神戸レザークロス4つの新
業態。

四・役員・支部連絡会

(2月24日・23名)

支部会だより(世田谷)。

○平成27年4月号(403号)

一面・靴の記念日式典挙行。

工場見学(大塚千葉工場)。

二面・業界情報(営業の意識改

革・今後に備える、銀座セント

メリーフジヤマ倒産、クレジット

カードの利用状況14%)。

三面・変わるショッピングセンター

(物販から人が集い時間を過

す空間)。

四・役員・支部連絡会

(3月23日・22名)

支部だより(板橋・新宿)。

○平成27年5月号(404号)

一面・中堅社員研修会開催。

靴の記念日抽選会開催。

マイナンバー制度。

二面・三面・秋・冬・ファッション傾

向(アジアリング)。

四・役員・支部連絡会

(4月23日・27名)

インバンド需要。

○平成27年6月号(405号)

一面・第3回定時総会開催。

繁盛店テスト(クレーム)。

二面・「足入れの良い靴プロジェ

クト」認証段階へ。

三面・郊外SCは厳しい。

地域小売店の復活。

大手3社の売上げ。

四・役員・支部連絡会

(5月23日・28名)

○平成27年7月号(406号)

一面・日本靴連盟通常総会開

催、新体制決まる。

高齢者の万引き。

二面・「ABCマート」労働基準

法違反容疑で書類送検。

影響大きいPB商品とネット

通販。ラオックスがモード・エ

ジャコモの株式取得。

三面・中国もネット流通の時代

に。スポーツ市場好調。

四・役員・支部連絡会

(6月23日・28名)

○平成27年8月号(407号)

一面・夏期学校講座工場見学

開催、(株)村井川越工場)。取

引先紹介(エスエスケイ)。

二面・接客の達人(イケダヤ・正

藤氏)。ネット通販拡大。

三面・今後の中国市場。小さな

町の事件。大手3社売上。

四・役員・支部連絡会

(7月23日・30名)

会員計報(関美江子氏)。

○平成27年9月号(408号)

一面・夏期レクリエーション、日帰

りバス旅行実施、

(伊香保温泉)。SF既得者

勉強会開催(22名鈴木講師)。

二面・「インバンド」外国旅行

者の行動状況。

「爆買い」は続かない。

三面・靴マーケットینگと

秋冬の売上げ傾向予測。

四・役員・支部連絡会(8月25

日・26名)。デサントがイノウエイ

トを買収。

○平成27年10月号(409号)

一面・靴卸団体連合会会長・大

野晴治氏に聞く①。

二面・三面・春・夏のファッション

傾向(アジアリング)。

四・役員・支部連絡会

(9月25日・32名)

TTP交渉大筋合意、靴業界へ

の影響。「新生アカクラ」スタ

ート。

会員計報(伊藤清子氏)。

○平成27年11月号(410号)

一面・消費生活講座開催、松戸

市立松が丘小学校PTA分

科委員会、小堤講師。

靴まつり抽選会実施。

二面・大野晴治氏に聞く②。

三面・「インバンド」外国旅行

者の行動状況東京。

四・役員・支部連絡会

(10月23日・32名)

支部だより(中央)。

三中井(株)新社長に小林氏。



—世田谷支部—

世田谷支部(田中省支部長)では毎年恒例の秋の支部親睦旅行を9月16日・17日、二泊二日で、はとバス企画旅行「東海道うまいもん大集合」に参加し行った。

参加者六名は午前7時45分に新宿駅西口に集合し、我々を含め総勢31名を乗せ最初の目

的地「豊川稲荷」へ。名物の稲荷ずしを味わい、門前町を散策。京都伏見稲荷とともに日本三大稲荷に数えられている豊川稲荷を参拝し、宿泊先の伊良湖ビューホテルへ向かった。途中渥美半島名物のメロンの試食では豪快にメロン半切れを味わった。ホテルでの夕食も100種類のバイキングと、優しい泉質の温泉でくつろいだ。



二日目は「うなぎパイ」の工場見学でスタートし、昼食は焼津石原水産での寿司の食べ放題と企画のタイトル通りのグルメツアーとなった。その後日本平からロープウェイで久能山東照宮へ、今年は徳川家康没後400年とのことで久能山博物館では、いわれの品や刀剣類が飾られていた。小雨の中、奥の院までの参拝を済ませ、日本平では雲の切れ目からの太平洋が望みできたが富士山が見られず残念だった。今回も参加者は六名と減少したが親睦を深め思い出に残る旅行となった。

理事会・支部連絡会

だより

平成二十七年十月二十五日(水)
午後2時、西村記念ホール

小堤会長の挨拶の後、松戸副会長の司会で本日の出席者数26名との報告、議事に入る。

一、共済会の現況訂正について
小堤会長より、あいおいニッセイ同和損害保険と代理店の東時の仲介で共済事業をやっているが、その運営基準について訂正があるので佐宗専務理事から説明すると指名した。

佐宗専務より、永年に亘り間違った説明をしてきたことが判明した。協会にとつては基準が緩和されたようなことになり、継続性が高まったということが良い結果ではあるが、会員、従業員の方々には無用の危機感、心配をかけてしまったことになる。従つて、次回の理事会に両社の担当者呼び謝罪と説明をさせる旨報告があった。

(別項参照)。
二、「靴まつり」の発送した

お買物券の扱いについて
田中省理事より、先ずは応募状況の一覧表がここに詳細に表示されている。お買物券の回収ほか取扱についてきめ細かく説明がなされた。

三、シューフィッター養成

委託講座(東京)に関して
佐宗専務理事より、来年1月のFHA委託養成講座の予定が示された。先に受講した山形屋の受講生が本日付で委託講座第1号の認定者と紹介があった。

四、親和会総会について

松戸副会長より、親和会総会の開催について、平成28年2月17、18日、箱根「南風荘」での提案がありました。

五、各委員会の報告について

栗原茂副会長より、「とうくつ」新年号の編集に関し説明。

栗原昭宣副会長より、教育研修委員会、2月上旬に大塚製靴横浜工場見学と5月に中堅社員教育を実施する。また、消費者講座の件についても各地消費生活センターに順次働きかけを検討。と報告。

六、年末年始の予定について

佐宗専務理事より、各会合催事について連絡があり、特に既得者勉強会参加促進と日本靴小売商連盟の決算総会スケジュールについて案内があった。

七、その他

栗原茂副会長より、市況についてスニーカー、アグブーツの「服感」など詳細な説明があった。佐宗専務理事より、板橋区消費生活センターの講座についても大変好評であった。と報告。

生命共済事情報告について

三井住友海上あいおい生命保険株式会社及び株式会社東時より左記の報告書が届いたので原文のまま掲載する。

東靴生命共済制度に関する

事情報告

拝啓 貴会ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、東靴生命共済制度として長年ご契約いただいております団体定期保険の契約内容に關しまして、弊社担当者からの説明が不足しており、貴会の制度運営に誤解を招いていたことが判明いたしました。多大なるご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫言申し上げます。

これまで「制度存続のために加入者数200名以上、加入率35%以上を維持しなければならぬ」と説明してまいりましたが、本制度の存続のために必要な最低加入者数は100名であり、一定の加入率を下回った場合に200名となります。

本来、「制度維持のための条件」と「制度安定のための目標」を明確に分けて説明申し上げるべきところ、後者のみを強調していたため誤解を招く結果となりました。

これは、条件が厳しくなつてから多くの加入者を募ることが困難であると考え、早期の段階で加入者数200名を目標としていたものです。

景況についてのアンケート結果 (対象月…27年11月)

▶ 全体的な業況		
良	い	10.0%
悪	い	60.0%
変	わ	30.0%
▶ 売上げ		
前	月	比
増	え	0.0%
減	っ	60.0%
同	じ	40.0%
前	年	同
増	え	10.0%
減	っ	60.0%
同	じ	30.0%
▶ 販売価格は前月比		
騰	貴	10.0%
下	落	0.0%
同	じ	90.0%
▶ 販売経費は前月比		
増	え	10.0%
減	っ	0.0%
同	じ	90.0%

東京都中小企業景況調査 {10月}

業 況：3か月ぶりに▲20台に戻す
見通し：回復への期待感がわずかに高まる

卸売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	356	40.7%	-100	0	100	0
森 身 回 り 品	1. 男 子 服					
	2. 婦 人 ・ 子 供 服					
	3. 靴 ・ 履 物					
	4. か ば ん ・ 袋 物					
	5. 装 身 具 ・ 身 の 回 り 品					
小売業			業 況			
対象数	回答数	回答率	10 月		今後3か月間 見 通 し (当月比)	
			悪い	良い	悪い	良い
875	284	32.5%	-100	0	100	0
衣 料 ・ 身 の 回 り 品	1. 呉 服 ・ 服 地 ・ 寝 具					
	2. 男 子 服					
	3. 婦 人 服					
	4. 子 供 服					
	5. 靴 ・ 履 物					
	6. か ば ん ・ 袋 物					
	7. 雑 貨 ・ 身 の 回 り 品					
	8. 時 計 ・ 眼 鏡					
	9. ジュエリー製品					

続が可能であることを報告するとともに、将来にわたる制度の安定維持のために、今後とも加入者数200名を目標とした運営をあらためてお願い申し上げます。

引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、切にお願い申し上げます。

敬具

会員計報

杉田 晴彦氏

豊島支部

平成二十七年五月二十五日

享年六十八歳 肺炎